

Step to the future

未来への前進

店舗の
改装工事
厨房機器

のこなら
agdp
エージーディーピー株式会社

姫路商工会議所支援で未来へ
ぐっと前進された会員事業所をご紹介します！

あったらいいな！を
カタチにできます！



エージーディーピー株式会社

代表者 松森 榮次

事業内容：建築リフォーム工事業

所在地：姫路市花田町小川252-1

TEL・FAX：079-280-3646

営業時間：9:00～18:00

定休日：土・日・祝



Q どんなお店ですか？

A 当社は、平成16年（2004年）に、店舗のメニューや看板などのグラフィックデザインを主体としたデザイン事務所として開業しました。現在は法人化し、「エンドユーザーが感動する店作り」を経営理念に掲げ、飲食、小売、理・美容、製造、サービス業など、様々な商業施設の設計・建築・改装を主力事業としています。業歴20年で培ってきた商業建築ならではのノウハウを活かし、企画、設計デザイン、施工を一貫して請け負うことができること、また、店舗イメージと統一した名刺やチラシ、ホームページなどの制作ができることを強みとしています。

Q 新たなサービスの狙いは？

A 建築工事の際に発生する廃材を再利用できないかという思いを、以前から持っていました。そこで、廃材をリユースし、新しい価値を吹き込む事業を考えました。事業の骨格としては、廃材となる合板を加工して家具として利用する一方、木質タイルを作成して壁材としても利用しています。また、家具の廃棄について、使用されなくなった際には再回収して木質タイルに再加工するという、素材の循環が可能な事業を考えています。

折しも、世の中ではSDGsや地球温暖化対策として、廃棄物の処理が注目されるようになり、循環型の社会やサーキュラーエコノミーへの変革が求められています。この観点において、当社の取り組みはタイムリーであり、社会のニーズに合致したものと考えています。



Q 新事業を展開する際に活用された制度はありますか？

A 前記のような考えのもと、新事業の具体化に際して必要となる設備として、合板材の加工には種々応用が利くレーザー加工機を導入すること、さらに加工場の整備も併せて実施する必要がありました。一方、コロナ禍において、政府はコロナによって棄損した事業の立て直しを支援するために、事業再構築補助金という支援事業を進めていました。この支援事業は設備投資に対する補助だけでなく、当時は建物の改修についても補助対象であったことから、当社の新事業の取り組みに合致していました。そこで、本補助制度の利用について、商工会議所に相談し、支援を受けて事業計画を策定しました。その結果、無事に採択され、新事業を立ち上げることができました。



Q 今後の目標を教えてください。

A 当社の家具は組み立て式となっています。そのため、必要な時に組み立て、使用しない時には分解して小さく保管することができます。現在、商売としては家具の販売のほか、主にイベントなどがある際にレンタル什器として貸出しております。これは、家具として使用できなくなった時にタイル材として再加工するため、回収を容易にすることが目的の一つです。これまで木質合板の利用を中心に事業を構築してきましたが、今後も合板の利用をさらに進めていくとともに、他の素材についてもリサイクルを含め、世の中を明るくする製品を生み出していきたいと考えています。